

山武市総合計画審議会 会議録

会議の名称	第3回山武市総合計画審議会	
開催日時	平成19年11月20日(火)	午後2時00分 開会 午後3時40分 閉会
開催場所	山武市役所3階 大会議室	
議長氏名	秋庭 武行	
出席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
欠席者氏名	大川 義男、鈴木 庸夫、朝日 典男、岩澤 静 石橋 藤榮 (5名)	
事務局氏名	総務部長 土屋 守 企画政策課長 石田 徳男 政策推進係長 浅野 洋一	
会議事項	<p>議題</p> <p>(1) 総合計画(原案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修正点について</li> <li>・パブリックコメントについて</li> <li>・基本計画における施策の前期目標値(平成24年度)について</li> </ul> <p>(2) その他</p>	<p>会議結果</p> <p>(1) 原案により決定</p>
会議の経過	別添会議経過のとおり	
会議資料	<p>次第</p> <p>総合計画(施策目標値)一覧表</p> <p>資料①「総合計画(素案)からの修正事項について」</p> <p>資料②「山武市総合計画(素案)についてのパブリックコメント実施結果について」</p> <p>資料③「山武市総合計画(原案)」</p> <p>資料④「山武市まちづくりアンケート簡易報告書」</p>	
その他必要事項	署名委員の指名 並木 委員 江口 委員	
会議録の確定		
確定年月日	署名委員	
平成20年1月8日	並木 彌	
	江口 清	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
総務部長	<p><b>1. 開会 (進行 総務部長 土屋 守)</b></p> <p>第3回山武市総合計画審議会を開催させていただきます。 本日は大変お忙しいところを集まっております。まことにありがとうございます。</p> <p>私は進行を務めさせていただきます総務部長の土屋と言います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日の総合計画審議会でございますけれども、ご案内のとおり総合計画、原案ということでご審議をいただくこととなります。その主な点を申し上げますと、本審議会及び議会全員協議会、その中で説明いたしました内容に対し、ご意見をいただいております。そのご意見に対しまして内部で検討した結果、総合計画の原案ができたわけですから、それを本日、検討いただきたい、それが1点。</p> <p>それから2点目といたしまして、総合計画素案について8月30日から10月1日までの約1カ月間、市民の皆さんからのご意見、ご提案を募集したパブリックコメント、この結果として、いただいたご意見についての市の考え、こちらを確認していただきたい。</p> <p>それから3点目といたしまして、基本計画の平成24年度の前期目標値を設定しております。これらにつきまして目標値のご確認をしていただきたいと、このように考えているところでございます。</p> <p>大変お忙しい中だとは思いますが、審議のほど、あるいはご意見のほどをいただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、次第の方を見ていただいて、会長あいさつということになっておりますので、秋庭会長の方からごあいさつをいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p><b>2. 会長あいさつ</b></p> <p>秋庭でございます。</p> <p>あらかじめお詫び申し上げますけれども、ちょっとのどを痛めておりまして、お聞き苦しい点があるかと思っておりますけれども、お許しを賜りたいと存じます。</p> <p>本日はご多忙の中ご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。月日の経つのは早いものでございまして、今年も残すところあと1カ月余りとなっております。昨年11月に第1回の総合計画審議会を開催しまして、総合計画の策定方針を皆</p>

<p>総務部長</p>	<p>さんとともに確認をされまして、本日が第3回目でございます。山武市民の夢を乗せました山武市総合計画も間もなく完成するところまでできています。本日はこの原案につきまして皆さん方にご審議をいただきたいと考えております。山武市の未来のため、本日有効な会議となりますように祈念いたしまして、簡単ではございますが私のあいさつとさせていただきます。</p> <p>会長どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の3ということで、椎名市長の方からあいさつをいたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p><b>3. 市長あいさつ</b></p> <p>こんにちは。お忙しい中を委員の皆様には3回目の審議会にお集まりをいただきましてありがとうございます。総務部長の方から説明があり、また会長さんからごあいさつをいただきましたので、あらましのことはもう済んでおるわけですが、原案、できてみればこんなものかという表現になりますが、ここに至るまで内部的にはかなりの会議を重ねまして、人件費で計算したらえらい金額になるのかなど、こんなふうを考えておりますが、特に優先順位といいますか、どこに力を入れていくのかというようなことにつきましても、真剣な討議をしてまいりました。全体的に右肩上がりの時代ですと非常にバラ色の未来が待っている処理ということになりますけれども、正直申し上げまして、将来、財政規模を縮めて行こうという中での計画でありますので、それなりの厳しさをもって策定に当たったということでございます。計画しまして、会社のようにバラ色とまでいくのかなということでもありますけれども、できるだけ発展の方向に向かって計画がつけられるというふうを考えております。</p> <p>実施計画の中ではさらに厳しく実現に向けて各施策やってもらいますので、3回目の審議会におきまして原案をお認めいただきますようお願いしまして、私のごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>総務部長</p>	<p>大変申し訳ございませんが、この後、市長は公務がございまして、退席させていただきますので、よろしくお願いいたしますと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、この後の議事につきましては山武市総合計画審議会条例第5条第1項に基づき会長に議長をお願いしたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>なお、本日委員さんの欠席のご連絡等がありました方についてご紹介いたしますと、大川委員さん、それから鈴木委員さん、朝日委員さん、岩澤委員さん、石橋委員さんの5名ということで連絡をいただいております。過半数の参加をいただいておりますので、会議の方は成立いたします。</p> <p>それでは、秋庭議長、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、座ったままで失礼させていただきます。</p> <p>議事に入ります前に、山武市総合計画審議会運営要綱第2条の規定に基づく2名の会議録署名委員を指名したいと思えます。</p> <p>今回の署名委員は江口委員と並木委員にお願いしたいと思いますが、よろしゅうございますか。</p> <p>ありがとうございます。それではよろしくお願いたします。</p> <p><b>決定事項</b></p> <p>今回の署名委員は、江口委員と並木委員が指名された。</p>
<p>会長</p>	<p><b>4. 議題</b></p> <p>それでは議題の(1)総合計画(原案)における修正点について、事務局に説明を願います。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p><b>(1) 総合計画(原案)について</b></p> <p>・修正点について</p> <p>事務局より資料①「総合計画(素案)からの修正事項について」および資料③「山武市総合計画(原案)」をもとに説明。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま総合計画(原案)につきまして、修正点について事務局から説明がありました。ご意見がございましたらお願いしたいと思います。</p>
<p>今関委員</p>	<p>今関です。意見じゃなくて訂正です。14ページのところ、開かれた行政になっているが、開かれた市政ではないか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>申しわけございませんでした。これは「市政」という形に直させていただきます。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ほかにご意見はございませんでしょうか。</p> <p>なければ、続きましてパブリックコメントについて事務局に説明を願います。</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>(1) 総合計画（原案）について  ・パブリックコメントについて  事務局より資料②「山武市総合計画(素案)についてのパブリックコメント実施結果について」をもとに説明。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまパブリックコメントについて事務局から説明がありましたけれども、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
<p>金田委員</p>	<p>座ったまま失礼します。金田です。  この①は非常に重要なことだと私は思っているんですけども、既に過ぎ去っているんで、入れるのは難しいということなのか、ここに書かれていることは子供たちの豊かな感性や想像力が育まれるような文化地域を強調しているんですよ。整備意向を提案しているんですね。この山武市というのはまさにそのとおりのところだと私は思っているんですけども、これと市の考え方のところは、後ろの方は何ていうか、そこに文化財の保護・活用を推進することが必要であると、関心が高まるように努めてまいります、こういうくだりなんです。非常に受け身的な表現なんですね、と私は思うんです。この提案した方は非常に積極的に述べておられるんですけども、子供の教育とか何かに触れたところで非常に大事なんじゃないかなと。もし入れられるのであればこういう表現の方が適切じゃないかと思うんですけども、どうなんでしょう。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>金田委員の今のご意見でございますけれども、これは土地利用の考え方の中のご提案でございますして、検討についてはこういう形で回答させていただきまして、こういう形で回答の方はさせていただきたいというふうに思います。</p>
<p>金田委員</p>	<p>これは土地利用の考え方ですか。土地利用と言ったって、私は土地利用というのはぴんとこないんですけども、その地域に根差したものがやっぱりあるわけでしょう。だから、そこでこういう表現をされたんじゃないですか。「生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえる」云々って。だからこういう表現の中にもう少し具体的なものを入れてもいいんじゃないでしょうかという私の提言なんですけれども。なじまないということなんですか。</p>
<p>会長</p>	<p>ちょっと今の金田委員のご意見に対し いかがですか。</p>

総務部長	<p>今ちょっと内容について確認しているところなんですが、土地利用の考え方というのはこれから先、都市計画がありますし、農振法の問題もありますし、さまざまな点で土地利用という問題が出てくるということでございます。</p> <p>多分ここで話が出ておりますのは、山武市土地利用構想という中での話で、施策的な内容に直接ここにかかわるものではないんじゃないかというようなことで、次の施策的な内容の中ではご提案があったようなものは当然入れていくような形の方がいいのかなというふうには思うんですが、そこら辺今確認していますので、ちょっとお待ちいただければありがたいと思います。</p>
企画政策課長	<p>申しわけございません。これはパブリックコメントに対する回答という形、これはこのまま出させていただいて、金田委員さんのおっしゃるものについては、検討を加えさせていただきたいと、そういうふうに思います。すみません、よろしく願いします。</p>
会長	<p>金田委員さん、何かありますか。</p>
金田委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>ほかにございますか。</p>
並木委員	<p>今の件に関連することなんですが、これは施策5の2、生涯学習の推進というところで、「文化財の保護・活用」という5の2の3に当たると思うんですね。ですから、金田委員さんの意見を取り入れるとするならば、この部分をもう少し充実させたらいかがかなと、こういうことだと思うんですが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>その辺、事務局の考え方はどうでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>先ほどあった「生涯学習の推進」の中の基本事業で「文化財の保護・活用」という形でここに載っておりますけれども、この中の実際のほかの事務事業等の中でその辺のところを検討させていただきたいというふうに思います。</p>
会長	<p>並木委員、よろしいでしょうか。 ほかにございませんか。</p>

並木委員	<p>3の提案の海地域についてのご意見で、この九十九里有料道路の延長について建設的な意見が述べられていますが、市の回答を見ますと、市民を含め関係各種機関との調整が必要であるため、早期の実現は困難と考えられますという、非常に消極的な意見なんですね。私が海沿いに住んでいるわけではございませんが、これはぜひ市としては積極的に進めるべき施策ではないかなと。早期の実現は困難と初めから決めつけしないで、早期実現のために努力しますぐらいなことは言ってもいいのではないかな、そういう気がいたします。</p>
会長	<p>続いてこの、今のご意見はどうでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>この辺については、この道路自体が市の道路ではないということで、恐らく県の事業だと思いますので、またその辺の県の事業に、こういう政策が恐らく県の中でも載っていれば、かなりこちらとしてもプッシュはできると思うんですが、まだその辺の県の事業も延伸というようなことは恐らく載っていないと思います。ですから、これについては蓮沼の方からたしかご意見が出ておりますけれども、その上の産業道路でしょうか、その辺の整備の方を進めていくような形になるのではないかなというふうに思います。</p>
並木委員	<p>その産業道路の整備について、ここに取り入れた方がよりわかりやすいのではないのでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>これについては、この方のご提言に対する回答ということで、その辺のことはちょっと触れられておりませんので、このご提言に対しての回答についてはこういう形にさせていただきます。その辺の道路の整備事項については、実際にこの事務事業の中で今検討しておるところでございますので、そちらの方で検討させていただきたいというふうに思います。</p>
会長	<p>そのほかございませんか。 次、基本計画における施策の前期目標値について、事務局より説明を求めます。</p>
企画政策課長	<p>(1) 総合計画（原案）について ・基本計画における施策の前期目標値(平成24年度)について 事務局より資料③「山武市総合計画(原案)」および資料④「山</p>

	<p>武市まちづくりアンケート簡易報告書」、「総合計画(施策目標値)一覧表」をもとに説明。</p>
<p>会長</p>	<p>今、事務局の方から説明がありましたけれども、これに対するご質問、ご意見等がございましたらお願いします。</p>
<p>金田委員</p>	<p>金田です。</p> <p>今の子育ての支援については、通常、矢印を見たら上がる方が目標が改善されるというふうに見るわけじゃないですかね。ですから、子育ての不安を持つじゃなくて、子育てに安心感を持つ保護者の割合に直して、この数字を72.7として、それが矢印を上がるようにした方が間違いないんじゃないのかな、誤解を招かないんじゃないのかなという印象を持ちました。</p> <p>それからもう一つ、重視する事項、優先順位がこのアンケートの結果で、市政なら市政の重視事項はアンケートの結果で決まるものかどうか、その辺を確認したいと思います。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>金田委員さんからのご質問、確かにごもっともでございまして、これ実は子育てに不安を持つ保護者という形で、アンケートが実は子育てに不安を持つ、ちょっとお待ちください。</p>
<p>金田委員</p>	<p>設問の仕方が悪いと思う。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>実はアンケートをごらんいただきますと、先ほど資料④をお配りしましたけれども、アンケートの9ページになるんですけども、32番目の設問に、18歳未満の子供の保護者の方ということで、子育てに関して不安や負担を感じていますかという質問を実はしております。回答として、大いに不安がある、やや不安がある、どちらともいえない、あまり不安はない、不安はないという形の質問で、実はこれはアンケートをとってあります。仮に本来、子育てに関して満足しているという形でとってあれば、そういう形でとった場合と同じ比較になるんですが、今回不安を感じるという形でとってありますので、5年後も同じような形でとりませんと、この数値の比較ができないという形になってまいりますので、今回こういう形でアンケートをとらせていただいた関係上、これについてはこのままこういう形でとらせていただきたいというふうに思います。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。</p>



<p>総務部長</p>	<p>すみません。私の方でちょっと追加させていただきたいんですけども、今、課長の方から話があったような形でアンケートをとらせてもらったということなんですが、これに関しては内部でも相当の議論が出ました。ただ見た目だけでは差があるんじゃないかと、施設なんかが上がっているんじゃないかという意見も多々あったわけでございます。</p> <p>そこで、注釈をつけるような形にした方がいいんじゃないかというようなことで、47ページを見ていただきたいと思うんですが、47ページの子育て支援という形で出ています。その下の方に、見えにくいかもわからないんですけども、米印でこの目標値表示はというようなことで書かせてもらったところでございます。かなり同じような話が出ましたので、このような形で理解してもら方がいいんじゃないかというようなことで、内部では話をしたところでございますので、ご理解のほどをお願いしたいと思います。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>それから、アンケートだけで決めたのかというご質問でございますけれども、これはアンケートを参考にしまして、それぞれ庁内でかなり細かな検討を重ねて、それから担当の部長で構成する策定委員会の中でも、この施策の重要度についてかなり議論をしていただきまして、そういった中で目標値を決めてきたということで、アンケートだけで決めたわけではないということでご理解をいただきたいというふうに思います。</p>
<p>大角委員</p>	<p>大角です。</p> <p>商工業の振興の24年度の数値目標が横線になっていて、それで社会指標となっているんですけども、これはどういうことか説明していただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局の方、お願いします。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>これは商品販売額とか製造品出荷額ということで、具体的に市が関与して、なかなか販売額だとか出荷額だとかいうものは市の関与で増やせるとか減らせるといったものではないということで、そういうものを一応社会指標という形でとらえさせていただきまして、これについてはそれぞれ市の施策によって数値が決まるものではないということなものですから、平成24年度についての目標値は空欄にさせていただいたという経緯でございます。</p>

大角委員	それなら私の考え方と同じなので、わかります。
会長	よろしいでしょうか。ほかに。
今関委員	<p>今関です。</p> <p>この目標値の設定について、アンケートで行うものと、もう一つ、業と書いてあるのは明確な数値が出ていますね。これはそれぞれの課題についてそれぞれの形で明確に数値が出ているわけでありまして。アンケートですというものは、この前にもたしかご指摘をさせていただいたと存じておりますけれども、そのときに当たった方々のイメージというんですか、そういうものが逆にこの中に影響してしまうという、自主的に事業を行っていたとしても、それが正当に評価されるか否かという問題を、僕は余りかかわり合えないという問題があるだろうというふうに実は思っているわけでありまして。</p> <p>第2に、例えて申し上げますと、1－1道路網の整備・充実という問題について、アンケートで5年間の評価をしようというふうに実は思っているわけでありまして。しかし、この問題でいえば、現在の道路から舗装の延長はどの程度延びただとか、その道路がどの程度舗装されているかというようなことについては、別にアンケートをとらなくても十分に評価ができるわけでありましてよね。5年間の間に何%の総延長がふえて、もしくはその間のメンテナンスをどの程度積極的に行ったかというようなことで、十分評価ができるはずなわけですよ。いいか悪いか。それが例えば道路でいえば、ある場所についてはそれぞれの市民から、それぞれの地区から舗装をお願いしたい、道路のメンテナンスをお願いしたいという要望があって、それによって行政当局は市議会なんかには相談しながら行っていくというようなことを政策として行っていくというふうに私ども理解しているわけです。</p> <p>それをアンケートでとるというところにちょっとある種の違和感がある。もしできるとすれば、アンケートでできているものでもそういうふうに数字で明確に把握できる問題については、それぞれが、市民はこう感じている、しかし市はこの程度のことをしたというものを5年後に、数字でとれるものはいいです、到達した しない、何%でした、それ以外のものについて行政的な評価を自分たちで見た場合、正確に定義できるような方法もご検討していただけたらどうかというものです。つまりイメージで市民がどう感じているかということは、大体のことは理解している。しかし5年間、市が行政として市民サービス</p>

	<p>を行うわけでありますから、市の方としてはこのことについて、数字で明確に今よりもこれだけ前進した、そこで先ほど最初に言った、市長がある種の優先度をつけて行うという、もちろんこれから5年間、10年間の山武市の財政状況がかなり厳しくなるということは私も見きわめています。ですから、そのことについて全部が今よりも前進しなければならないというような、そういう思いは出しておりません。多分、厳しい中で取捨選択をして、優先順位をつけて、できないものもかなりあるということは重々理解をしています。でありますから、そこら辺のことを明確にすることによって、それを市民に開示することによって、山武市の置かれている状況というのを市民が理解し、市民が行政に対してどう取り組んでいけるかというようなことにもなるわけでありますから、その辺のところはもう少し、これをももちろん否定するわけじゃありませんけれども、そのような数値もご提示できるようなことをお考えいただきたい、それがお願いであります。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局の今の今関委員さんの内容は、舗装等のデータと総合計画で示すデータとの整合が図れるのであれば、オープンにできないかというようなご意見でございますけれども。</p>
<p>今関委員</p>	<p>アンケートの中で数字で把握できるものについては、私が言いましたのは道路のことを申し上げましたけれども、道路はもちろん例として今申し上げたわけでありまして、アンケートで評価をするものの中で、行政的な数字で当然把握できるものがたくさんあるわけです。これ私は全部把握できるというふうに思っています。でありますから、市民の感覚はこうであるというのを、行政はある種の言い訳になるかもしれませんが、こういたしましたということを明確に自ら評価をとというようなことも必要ではないでしょうかということを申し上げているわけであります。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>それではお答えいたします。      施策、基本事業の中では、アンケートをとるものが非常に多く、実際に数値としてとれますが、中には数値を示していないのがあります。これについては、その下の事務事業の中で業務取得するような数値、例えば舗装率だとか、道路の改良延長だとか、そういうものを指標としてとらえておりますので、それを今度は行政評価ということで評価を掲げてまいります。ということで、施策、基本事業には示しておりませんが、実際には</p>

<p>今関委員</p>	<p>数値でとらえて評価をしていくということを今後進めていくということでご理解いただきたいというふうに思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それで、それを発表していくんですか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>はい。今回、事務事業の中の幾つかを拾って実施計画に乗せていくという作業を進めておるんですけども、事務事業はうちの場合だと約1,000という事業になるんじゃないかと思えますけれども、それについて一つ一つ評価を今後加えていくということになっておまして、その辺で実際に1,000の事業を全部評価するのにやっぱり3年ぐらいの年数がかかってしまうんですけども、3年ぐらいかかって全部評価をし終わった後に、これについては公表していくという形で考えております。</p>
<p>猪野委員</p>	<p>猪野でございます。今関委員からお話が出たことを含めますけれども、単に希望的、あるいは根拠もなくいい結果を予測するというのは、既に言ったかもしれませんけれども、ただこの横矢印を見た場合に、平成24年度は、この横線ということは非常に希望が持てない、何か今のままでいいじゃないかと考えているんじゃないかというように思うんですけども、根拠もなくという、ただむやみに数字を上げればいいというものではないですけども、しかし将来にわたってこのままでいいんだよ、というふうな立場での策定ではないかなというふうにも私ちょっと考えてしまうんですけども、この辺のことについてはどういうふうに考えての結論なのでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>これについては、まず5年間の前期の基本計画、5年間のスパンでということなんですけれども、優先度をつけながら指標を考えていったわけなんですけれども。ですから、一つ例を挙げますと、例えば1-4にあります市街地の利便性に対する満足度ということで、市街地の利便性についても、例えば今後都市計画の計画づくりだとか、まず市をどういう形に持っていくかというパズルの計画づくりをこの5年間のうちにはやって、それでどういうまちづくりを進めていくかということを計画ができないと、なかなか中間報告ができないという経緯がございまして。ですから、この5年間の中では実際半分以上はいかないんで、恐らく現状値を上げることはできないということで横向きになってしまっているということで、何も事業を進めないということではないので、5年間の中ではなかなか実現効果が</p>

<p>猪野委員</p>	<p>できないということで、最初に計画づくりから入っていかなければしょうがないというような事業も非常に多いものですから、そういうことで横向きになっているということでご理解いただきたいというふうに思っております。</p> <p>ありがとうございます。確かに限られた枠の中での今後の運営ということになりますので、当然優先順位があって、その中で第一にやらなければいけない方を選択していかなければいけないということでしょう。とにかくこれでいいことではないけれども、やはり優先順位その他を勘案した中では、それでこうなっているというふうに理解するということですね。わかりました。</p>
<p>金田委員</p>	<p>金田です。今、課長が言われたまちづくりの計画ができていないというのはどういうことなんですか。今まちづくりの計画をつくっているんじゃないですか。つまりこの計画をつくったけれども、まだまだ安穩な部分がたくさんあって、これは不安定な物のつくり方という、こういう趣旨なんですか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>いえ。この計画に基づきまして、実際に進めていくいろいろな計画をつくっていく必要があります。例えばこれに基づきまして今度、都市計画のマスタープランの作成が出てくるんです。ですからその辺が実際にこれができ上がったころ、今年あたりからもう既に動き出していますけれども、これにやっぱり2年ぐらいかかってしまう。</p> <p>それから、例えば駅周辺の整備の計画についても、どういうふうに駅周辺を整備していくのかという計画、当時はそれぞれの市町村で持ってはありましたけれども、その辺がちょっと現実に即しなくなってきた面もございますので、都市計画のマスタープランなんかの整備等含めまして、そういう計画も実施に向けての計画をつくっていく必要があるだろうということに進めておりますので、どうしてもこの5カ年の中では計画づくりが主体になってしまうということ、そういうようなことが含まれているということでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>今関委員</p>	<p>もう1点、平成24年度の目標値のことで1点お尋ねをさせていただきます。</p> <p>3-3の観光の振興のところ、年間観光客の入込数が横ばいであって、年間宿泊観光客数が減少しているんですけども、どんな要因をもってこのような数字が出てきたのか。さまざま</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>なご検討をなさったんでしょうけれども、減っているというのはそれはそれなりのちゃんとした理由があるんでしょうけれども、そこら辺のことをちょっとお尋ねさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、お答えしたいと思います。</p> <p>これはこの数値が減っておるという理由でございますけれども、まずこれのちょっと前の方からのトレンドを実は見ておまして、平成17年から18年にかけてやはり1年間で約2,000人ほど減っておるんです。17年が7万9,522人、8年が7万7,238人という数値が出ておまして、この辺の理由については、考えられるのは交通網の整備によって山武市に来る方が日帰りで帰ってしまうという人が非常にふえているんじゃないかと、そんないろんな要因があると思うんですけども、このトレンドで見ていきますと、実際は恐らく7万人を切ってしまうぐらいのトレンドの数値になってしまうんじゃないかということで、これについてはいろんな手を打ちながら、7万5,000人、そこまで何とか抑えようということで、ただしなかなか現状維持あるいはこれを上向きに持っていくのは非常に難しいと。ですから、下げる率をできるだけならかにするような方策をしていきたいということで、この7万5,000人というような数字がトレンドを少し緩やかにしようということで出てきた数値でございます。</p>
<p>今関委員</p>	<p>つまりトレンドに抑えたということであると、今のご説明だとこの7万5,000人よりももっと減っていく可能性があるという認識ですけども。現実には山武市の中で観光業に携わっている皆さんの宿泊の供給量、そういうのは減っていくというような方向にはないんですね。つまりそれも一緒に減っていくってしまうという考えですか。お客が来ない。そうしたら客足が非常に沈んでいくというようなとらえ方をしていると、それでは行政は一体その人たちに温かい手を差し伸べていくか否かという問題になってしまうわけですね。</p> <p>現実にお客様になかなかおいでいただけないという状態は、確かに社会的な現象としてあるかもしれない。であるとすれば、それはもっと積極的に、だからそこら辺のことをどう表現するかという問題になるわけです。この表を例えばオープンに出したときに、観光に携わっている人たちはどきっとして、これ何、山武市は一体何をやっているんだということになりはしないかなという危惧があるわけですね。だからそこら辺のところは、例えば実はこういう人に、この中の人たち、つまり供</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>給される人たちの上限が本当に縮まっていくのかというふうに思っているかどうかという、この数字は事によってはなかなか議論の対象になる可能性はあるというふうに思います。指摘だけさせていただきます。</p> <p>ちょっと1点、こここのところの、この宿泊施設は決してなくなってしまうというとらえ方はしていません。恐らく宿泊施設自体は現状のままであるけれども、そういういろんな人、日帰りのお客が増えてしまうというような、今までのトレンドといいましょうか、社会情勢の中でやはり減っていくのを止めるのはなかなか難しいんじゃないかという現実的な数値としてとらえたということで、こういう数値に重ねてしまうということです。</p>
<p>佐瀬委員</p>	<p>佐瀬と申します。</p> <p>今、目標値の設定等につきましては、やはり住民アンケート、これが基礎になっているわけですよ。そうした中でも市民3,000人を無作為に抽出してアンケートをとったわけですよ。そうしましたら回答率が1,554件、回収率が51.8%ということでございます。こういうところで目標値を定めていっているわけですけれども、こういうアンケートのとり方の中で、果たしてこれを理由に、こういう原案を作成し、これが市民の声なのかと、その辺が危惧されるんですが、その辺の生の調査をこれに追加していくということがありますね。庁舎内でその辺の問題点、提起はなかったでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>アンケートなんですけれども、これ3,000人を無作為に抽出して、これについてはできるだけ地区のアンバランスのないような形で、それから年齢差についても計り漏れのないような形で、できるだけ公平な形でとった結果で、このアンケートを全員にとるということがなかなかできないものですから、一つの市民の方の考え方の方向として、ある程度の信憑性はあるんじゃないかという形でとらせていただきましたので。それから、市の職員の考え方等を取ったり、いろんな方向から検討を加えています。私は、アンケート結果だけを踏まえて検討した結果論の目標値ではございませんので、そういう形でかなり別の検討を加えてこの施策を定めたということで、その辺についてはご理解いただきたいということです。</p>
<p>佐瀬委員</p>	<p>約6万弱の人口の中で1,500人のアンケート結果で、これによ</p>

<p>総務部長</p>	<p>ってこれだけの大きな総合計画を立てていくという基礎事業にしていこうというのは、非常に私は営業的にもちょっと少ないんじゃないかと。アンケートの徴収率が、ひとつ危惧されるんですが。本当に庁舎内でこれに対して議論がなかったとしたら、これは、この計画の基本的なことだと思いますけれども。</p> <p>今お話しされた点については議論がありました。今までの各旧市町村につきましては、それぞれアンケート調査をやって、総合計画をしてきたと思うんです。総体的な言い方をしますと、かなり多いから必ずしも的確なものが見つかるかというような、そういう考え方ではない。むしろどう回答をしてもらえるかということが重要じゃないかというふうにお聞きしたわけです。</p> <p>このアンケートにつきましては、今回、山武市ということで、かなりの今までになく多くのものを質問として出させてもらったわけです。これに対して内部で非常に危惧した点は、回答してもらえるかどうか。要は回答率をもっともっと低い、通常私どもで話を聞いている中では40%ちょっとぐらいじゃないかというようなお話でありました。このくらいのアンケートの数だとかなり回答率が低くなってしまうと、要は協力をしてもらえない方が多くなってしまうということなんですよね。そういった中で危惧していたんですが、50%を超えたということで、高いか低いかということはいろんな形で見るとちよつと違うんですが、一般的に今までのこういうアンケートの中身からいくと、数が余計な割には回答率が高いというふうなことで差し引いたところもあるわけです。</p> <p>ですから、そういう点で方向性についてはそんなに間違っていないだろうというようなことも、中にはありました。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>佐瀬委員</p>	<p>ありがとうございました。今これについては質問すること自体、ちょっと遅過ぎたんですけども、参考にお聞きしたわけでございます。ありがとうございます。</p>
<p>並木委員</p>	<p>4－5です。社会福祉の充実で、この中で自立による生活保護廃止件数1が目標値2となっております。これは生活保護を受けている家庭がどのくらいの数があって、そのうちの1が廃止件数ですというのがないと、これは1と2といってもちよつと漠然とし過ぎてしまつてわからないというのが実情じゃないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。</p>



企画政策課長	<p>確かにそのとおりだと思います。ちょっと調べさせてもらって。すみません。</p>
会長	<p>では、少しお時間をいただけますか。  それでは、今ちょうど調べているところでございますから、ほかにご意見ございますでしょうか。</p>
大角委員	<p>総合計画の中に実施計画が出てくると思うんですが、それが出てこないのを不思議に思っているんです。事業計画、それに伴う予算、そこまで総合計画の中に入ってくるみたいなことを思っているんですが、その点はどういうふうなことなんですかね。旧成東町では総合計画審議協議会で10カ年まで前期5カ年計画、後期5カ年計画、実施計画まで全部びっしり出したんですよ。で、やったんですよ。そういう経過があるんです。  それがいわゆる今の討論についても、具体的なところが出ていないんですよ。</p>
企画政策課長	<p>実施計画でございますけれども、現在取りまとめをしておるところでございます、この基本計画、ここまでは構想、基本計画が決まっていれば、当然実施計画も決まってくるという中で、現在取りまとめをしておるところでございます、次回の総合計画審議会、多分これはある程度実施計画も取りまとめたものをお示ししようというふうに思っていますので、恐らく2月の中旬ぐらいになってしまうんじゃないかと思うんですけれども、これについては取りまとめたものを一緒にお示しはしたいというふうに思っております。</p>
企画政策課長	<p>それでは、先ほどの生活保護の受給世帯の数なんですが、厚い冊子の48ページのところを見ていただきますと、左下の方に施策を取り巻く環境変化という中の方に世帯数が出ておまして、18年で147世帯、それから19年で177世帯という数値でございます。</p>
並木委員	<p>市として具体的に記述を進めていることで、これを目標にしたと思うんですけれども、これは具体的にはどういう自立の道を、市としてはどのように援助を差し伸べていくのかはあるんですか。</p>
企画政策課長	<p>これは、あくまでも自立を目指すということで、特に実施計画で何かを進めるという事業的なものは考えてないということ</p>

<p>並木委員</p>	<p>です。</p> <p>ただ漠然とそういうふうを目指しているみたいなことなんですね。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>これは担当じゃないので、細かいところがちょっと質問にお答えできませんけれども、できるだけ費用のかからない形ではありますけれども、自立支援だとか指導とか、そういうものを担当課としては行っていくという中で、なかなか自立というのは難しいようでございますけれども、1件から2件程度には増やしていきたいという目標の上でございます。</p>
<p>並木委員</p>	<p>件数としては段々増えている傾向にはあるわけですよ。とても自立させたいということはわかりました。具体的な施策として、やはりどこかに盛り込んでおかないと、この数値が何かむなしく見えてしまいます。その点、ちょっとお願いしたいなと思うんです。</p>
<p>会長</p>	<p><b>決定事項</b> 議題（1）総合計画（原案）について、原案のとおり決定した。</p>
<p>会長</p>	<p>次に議題の（2）その他の事項に入ります。その他の事項でいろいろご意見がございましたらお願いしたいと思います。 特にございませんか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p><b>4. 議題</b> <b>（2）その他</b></p> <p>先ほどちょっと申し上げましたけれども、次回の総合計画審議会でございますけれども、先ほど申し上げましたとおり、実施計画の方の取りまとめが恐らく1月いっぱいぐらいはかかってしまうというふうに思います。ですから2月の下旬になるかと思っておりますけれども、その頃に再度総合計画審議会の方をお開きいただいて、答申の方もいただきながら実施計画のお示しをしていただくというふうに思っております。よろしく願います。</p>
<p>金田委員</p>	<p>金田です。今、実施計画というのはまだ事務事業ははっきり出てきていないんですけれども、この事務事業の実施というの</p>

	<p>はどのようなイメージなんですか。それが1点です。</p> <p>それから、あくまでもこれは山武市総合計画の中ですよ。この中に全部網羅されているのかなというイメージもちょっと最近してきているんですよ。合併に伴って自然的に事業としてやらなければならないものがあるようなので、その辺を見るにチェックして漏れのないようにやってほしいなというふうに思います。</p>
企画政策課長	<p>事務事業の中から重要なものについて拾い上げたものが実施計画という形になります。現在、事務事業の方、かなり細かいところから一つ一つ精査しておりますので、その辺の漏れがないような形で進めてまいりたいというふうに思います。</p>
会長	<p>事務局に確認します。実施計画を出してもらって、それに対するその計画の中身の質疑とか出てきた場合に、スケジュール的にはどうでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>実施計画なんですから、これについては予算の裏づけが絡むものでございますので、それを全部精査した段階で出させてもらうという、そういうスケジュールで考えておまして、ほぼ想定したものを提出するしか今のところないというふうに思っています。ですから、その中でご意見いただいて、もしその中で予算の中で直せるものがあれば、ご意見の中にいただくような形ですけれども、実際には予算の裏づけのあるという形の中で提出させていただきますので、予算の制限のある中でも精査したものでお出しするというので、その辺でご理解をいただきたいというふうに思っております。</p>
今関委員	<p>この総合計画を進めていく段階でお願いをしておきたいというふうに思うわけです。それは、これからの山武市の行く末についてかなり綿密に精査をして検討して前へ進んでいるわけです。このことについて市民にどう理解をしていただくかという問題を絶えずはらんでいるというふうに思います。オープンに市民に語りかけていくという作業はぜひ行っていただきたい。これはお願いです。私どもはそのことについて、責務はこれをつくる段階でありますから、実際にはそれを行っていくのは行政が提案して議会でチェックをして、その説明をしてなっていく。つまり、それはもう議会の中なり、審査をして行っていく作業になっていくわけでありまして。ただお願いするのは、それがきちとした形で市民に提起できるようなことを市とし</p>

総務部長	<p>て絶えず行っていただきたいというお願いであります。</p> <p>今関委員さんの方から要望ということでお聞きしたわけですが、総合計画の市民の方への周知ということにつきましては、出せるものはどんどん出していききたいというのは基本的に考えております。ですから、広報を通じてやれるもの、あるいは冊子的なものでつくってこられるというものがあれば、そういう形も含めましてこれから考えていきたい。とりあえず今予定されているのは、概要版はつくる予定になっているということでございます。</p>
会長	<p>ほかにご意見ございませんか。</p> <p>なければ、本日は大変貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございました。この会議もさらに次回は第4回ということで、間もなく答申に向けて具体的な会議になろうかと思えます。次回も活発なご意見をお願いして、山武市がより住みよくなりますことをお願いしまして、本日の第3回山武市総合計画審議会を閉会させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">閉会 午後3時40分</p>

会議の名称 第3回 山武市総合計画審議会

開催日 平成19年11月20日(火)

出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	秋庭 武行	出欠
副会長	行木 信一	出欠
委員	遠藤 正之	出欠
委員	大川 義男	出欠
委員	鈴木 庸夫	出欠
委員	小水 達美	出欠
委員	朝日 典男	出欠
委員	岩澤 静	出欠
委員	小川 憲治	出欠
委員	布施 定一	出欠
委員	江口 清	出欠
委員	並木 彌	出欠
委員	大角 進	出欠
委員	石橋 藤榮	出欠
委員	木内 秀雄	出欠
委員	浅野 祐一	出欠
委員	今関 紘	出欠
委員	佐瀬 孝一	出欠
委員	猪原 源治	出欠
委員	金田 弘之	出欠

出席 15名 ・ 欠席 5名